

平成25年度予算見積調書

課室名：みどり自然課

担当名：野生生物担当

内線：3143

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B60	森林保全対策・「森の番人」育成事業費		一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	鳥獣保護対策費	
事業期間	平成24年度～平成27年度	根拠法令	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律		戦略項目	040104 生物多様性保全の推進		
1 事業の概要		5 事業説明						
<p>近年、シカの生息数の増加や生息域の拡大に伴い、森林が破壊され、一部では裸地化した区域が拡大しており、水源地域の森林が危機的状況にある。</p> <p>このため、増加したシカの個体数を減少させる担い手となる狩猟者の持続的な育成・確保を行い、森林の保全を図る。</p> <p>(1) 新規担い手確保対策 3,068千円 (2) 保護管理担い手研修会 400千円 (3) 共同捕獲実施研修 1,600千円 (4) 鳥獣保護管理支援検討会 59千円 (5) 野生鳥獣保護管理普及啓発 373千円</p>		<p>(1) 事業内容 野生鳥獣の保護管理の担い手、いわゆる「森の番人」である狩猟者は、鳥獣の個体数調整の手段として、鳥獣による被害の未然防止に資する役割を果たしているが、近年、狩猟者の減少や高齢化が進行し、捕獲の担い手になる狩猟者が急激に減少している。このため、捕獲の担い手を絶やさないう育成していく。</p> <p>ア 新規担い手確保対策 鳥獣保護管理・狩猟免許制度講習会開催、狩猟免許試験講習会委託 3,068千円 イ 保護管理担い手研修会 安全狩猟・射撃実習研修委託 400千円 ウ 共同捕獲実施研修 共同捕獲実践研修委託 1,600千円 エ 鳥獣保護管理支援検討会 被害対策、捕獲体制及び効果検証のための検討会開催 59千円 オ 野生鳥獣保護管理普及啓発 普及啓発ポスターの作成等 373千円</p> <p>(2) 事業計画 ア 新規担い手確保対策 鳥獣保護管理・狩猟免許制度講習会：年1回、狩猟免許試験講習会：年4回 イ 保護管理担い手研修会 安全狩猟・射撃実習研修会：年2回 ウ 共同捕獲実施研修 隣接都県との共同捕獲実践研修：年4回 エ 鳥獣保護管理支援検討会 検討会：年2回 オ 野生鳥獣保護管理普及啓発 普及啓発ポスターの作成等</p> <p>(3) 事業効果 有害鳥獣捕獲の実施者の確保により、被害を及ぼしている鳥獣の捕獲を行い、適正な個体数に調整できる。経験豊かな狩猟者からの技術継承により、効率的な捕獲が行えるようになる。狩猟免許新規取得者にとっては、「森の番人」としての役割を意識してもらうことにより、優良な狩猟者の育成につながる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 経験豊かで指導力のある狩猟者を擁する社団法人埼玉県猟友会との連携により事業を実施している。</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県 10/10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税（単位費用） （区分）林野行政費（細目）鳥獣行政費 （細節）鳥獣行政費 （積算内容）鳥獣保護事業の実施等に関する事務								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円								
予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との 対比
決定額	5,500	繰入金					0	1,000
前年額	4,500						0	